



光明堂について

光明堂は、1701年に建立された鐘楼と並んで境内では一番古いお堂です。元禄の本堂とも呼ばれ2代前の本堂でした。見所は、お堂正面の掲額両端の彫り物です。これは「カルラ」と呼ばれるインド神話に登場する炎のように光り輝き熱を発する神鳥ということです。インドネシア語では「ガルダ」と言うそうでタイやインドネシアの国章にもなっています。

成田山公園について



光明堂前の林の中の坂道を降りていくと、成田山公園に続いていきます。まず水音のする方に足を向けていくと小さな滝に出会います。ここからブラブラと小川沿いに歩いて行くコースは、ここまでの疲れを癒やしてくれます。ちょっとベンチに座って休憩して木立や水の流れに目をとめてみるのもいいと思います。



平和大塔について

平和大塔は1984年に約350億円で建立されました。境内の建物では唯一国道51号線から見えます。まだ新しい建物ですが、塔内に入って写経をしたり見学することも出来るようです。私はまだしたことは有りません。この塔は外見は、二層ですが、5階建の塔で高さは28m有るとのことです。私は、成田公園から西洋庭園に出て、ここから見上げる平和大塔が、一番良いと思います。

最後に

成田山新勝寺の境内は、全体で東京ドーム4倍以上あると言うことで、じっくり見て廻ると1日がかりになると思います。しかしもし成田山にお出かけになるのであれば是非じっくりと建物探訪をしてみてください。きっと何か発見があると思います。

